

中国印刷及び設備器材工業会（PEIAC）ならびに中国国際展覧中心集団（CIEC）の一行が、IGASS2007の会期中の9月24日に東京ビッグサイト会議棟608号室で記者会見、中国印刷産業界の現況を説明するとともに、2009年5月に北京市で開催される「CHINA PRINT2009」の概要を発表した。

年率8%以上の成長続ける

IGASS2007に來日したPEIACの王徳茂常務副理事長は「2009年5月に中国北京市で開催されるCHINA PRINT2009においていただきたい。また、出展もよろしくお願したい。わたしどもは最高のサービスでお待ちしている」と力強くあいさつ。続いて「中国印刷産業2006」と「第7回北京国際印刷技術展覧会 CHINA PRINT2009」についてのプレゼンが行われた。

中国印刷産業の現況については、中国印刷市場や機材の動向について統計資料を駆使して次のように説明を行った。

中国の経済動向は、2006年のGDPは20兆9400億人民元で年率10・9%の成長率、輸出額909億米ドル、輸入額7916億米ドルと順調に進展している。

【印刷市場】
出来高380億人民元、事業所数9万社、従業者数309万人
【分野別市場生産高】（単位：人民元）

（プリプレス） 205億
（書籍・定期刊行物） 81億

（新聞印刷） 525億
（パッケージ印刷） 1235億

（フォト印刷） 125億
（商業印刷） 150億

（その他印刷） 390億

PEIAC
が記者会見

急成長する中国印刷産業

（フィルム（単位：平方メートル））
輸入量 9685万
輸出量 5318万
（インキ）（単位：トン）
生産量 35万5千
消費量 36万3千
輸入量 4万7700
輸出量 3万3200
（紙・板紙）
輸入量 441万トン
輸出量 341万トン
一人当たり消費量 3000キログラム
一人当たり生産量 50キログラム

【中国印刷産業トレンド】
全体トレンドとして、デジタル化、ネットワーキング、汎用化、個別化、迅速性が進行中である。

技術利用の発展については「デジタル印刷、ネットワーキング印刷は急速に発展中」「CTP技術は成熟化」「オフセット印刷が主流」「グラフィックレキンスク



リー印刷は着実に成長」と明らかにした。印刷が発展している地域は「珠江デルタ」「長江デルタ」「環渤海沿岸」の3地域である。

【中国印刷の将来】
中国印刷のポテンシャルは巨大であり、中国印刷は

「中国印刷の将来」
中国印刷のポテンシャルは巨大であり、中国印刷は

会見する一行。中央がPEIAC王副理事長

率8%以上で急速に成長中である。

続いて第7回北京国際印刷技術展覧会「CHINA PRINT2009」の開催概要が明らかにされた。

CHINA PRINTは1984年に第1回目が開催されてから4年毎に北京で開催されているナンバリーのショーである。国際展覧会組織、UFIに加入、政府の後援を受けている。

主催は中国印刷及び設備器材工業会（PEIAC）と中国国際展覧中心集団（CIEC）。

PEIACは1985年に設立され、印刷設備メーカーと印刷業者境界から構成され、1300社が加入、6万社を間接会員社を擁する。

運営はPEIACとCIECのジョイントベンチャー会社「China Print Show Company」が行う。

会期は09年5月12日〜16日。会場は北京市の中国国際展覧中心・新館（NCIEC）。展示面積は12万平方米、そのうち屋内展示面積10万6000平方米、野外展示面積2万平方米。8ホール、平屋建てで連結している。

出展社数は1000社、来場者数は16万人を見込んでいる。

今回の出展料は従来、海外と国内で区別していた料金を廃止、一律にする代わりに、正門入り口から近い順にA、B、C、Dの4ランク制にした。AランクはDランクの2倍の料金となっている。出展締め切りは2009年1月末。